

科目名	母性看護援助論Ⅲ				
担当講師名	蕪田 麻紀	所属・役職	主任看護教員	資格・免許	助産師
授業形態	講義・演習・GW	単位数・時間数	1 単位 30 時間	開講年次	2 学年前後期
講義の概要	母性看護学実習で行う沐浴の知識・技術を習得する。 母性看護学の看護過程では経過をより正常に、また逸脱した徴候を見極めることからウェルネス型の看護診断が用いられている。母性看護学実習で受け持つ褥婦の看護過程を展開するための知識を習得する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・母性看護領域の対象に応じた看護過程の特徴を理解できる ・ウェルネス型看護診断の概要について理解できる ・産褥期のマタニティ診断に必要な情報収集の視点が理解できる ・産褥期の生理的变化の学習にもとづき看護診断を行うことができる ・看護診断にもとづいた看護過程の展開を行うことができる ・ハイリスクの褥婦のマタニティ診断に必要な情報収集の視点が理解できる ・ハイリスクの褥婦の看護診断を行なうことができる 				
講義回数	講義内容				
1 2～3 4 5 6～7 8 9 10 11～12 13 14 15	新生児の観察と新生児のアセスメントの視点 沐浴演習 新生児の観察の視点について個人ワーク マタニティサイクルにおける看護過程（ウェルネス型看護診断） 産褥の生理と新生児の看護過程 情報収集の視点 褥婦と正常新生児の看護過程 情報分析・解釈と看護診断（個人ワーク・GW） 褥婦と正常新生児の看護過程 診断にもとづいた看護計画の立案(GW) 褥婦と正常新生児の看護過程 情報分析・解釈と看護診断 褥婦と正常新生児の看護過程 診断にもとづいた看護計画の立案（発表） 帝王切開術後の褥婦の看護過程 情報収集の視点 帝王切開術後の褥婦の看護過程 情報分析・解釈と看護診断（個人ワーク・GW） 帝王切開術後の褥婦の看護過程 情報分析・解釈と看護診断(GW) 帝王切開術後の褥婦の看護過程 情報分析・解釈と看護診断（発表） ハイリスク褥婦の看護過程 ハイリスク褥婦の情報収集の視点 ハイリスク褥婦の看護過程 情報分析・解釈と看護診断（個人ワーク）				
教科書等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学② 医学書院 パーフェクト臨床実習ガイド 母性看護 第2版 照林社 適宜資料を配布します				
成績評価方法	出席状況、授業参加状況、課題の取組状況等により総合的に評価します。				
履修上の留意点	既習の解剖学・生理学(性と生殖に関する内容)病態学各論Ⅳ(周産期に関する内容) 母性看護援助論Ⅱを踏まえて授業に臨む 沐浴の演習前はDVDを十分に視聴すること				
特記事項					